

# 議会報告会報告書

令和7年12月18日

小田原市議会議長  
井上昌彦様

報告者 議会広報広聴常任委員長  
栗畑寿一朗

議会報告会（議場見学会）の結果について、次のとおり報告いたします。

日時	令和7年11月10日（月曜日）午前8時50分～午前10時50分			
場所	小田原市役所 議場			
出席者	中野正幸	大川晋作	小谷英次郎	岩田泰明
	寺島由美子	加藤仁司		
参加人数	27名（早川小学校6年生児童24名、担任教諭3名）			
内容	<p>小田原市議会基本条例では、市民の意見を議会の審議や政策立案に生かすため、議会報告会や市民アンケートのほか、多様な媒体を活用し、広報広聴の充実を図るものと定められています。</p> <p>そのような中、これまで要望に応じて対応を行ってきた議場見学会は、議会報告会と同様に議会活動の報告という広報の面と、意見交換による広聴の面があることから、令和3年度からは議会報告会の一つの形として以下のとおり実施しました。</p> <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・市議会議員から児童に対し、市議会や議場に関する説明</li><li>・議長室や傍聴席といった、議場以外の施設の見学</li><li>・議員に対する質疑応答</li></ul>			
主な質疑・意見等	裏面参照			
その他				

## <主な質疑等について>

**【質疑】** 遊び場が欲しいと言った場合、小学生の意見は通りますか。どのように提案すればよいですか。

**【回答】** 陳情を出す。または議員に提案や相談をする。市役所の相談部署に相談をすることです。

**【質疑】** 議会はなぜ作られたのですか。

**【回答】** 市民から意見をもらうのは大変なので、27名の議員によって協議するために議会を作った。

**【質疑】** とういう形で物事が決まるのですか。

**【回答】** 民主主義の基本である多数決で決まるが、その前に様々な議論をしてから決を採る形となる。

**【質疑】** 議会局長は何をしているか。

**【回答】** 議事進行がうまくいくようアドバイスをしている。議員ではなく職員です。